

会 議 録

会 議 の 名 称	総務・教育部会（会議・第3回目）	
開 催 日 時	平成28年11月25日（金）午後3時30分～午後5時00分	
開 催 場 所	川島町役場庁舎2階大会議室	
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開について ・会議録及び会議署名委員の指名について ・協議事項 ・報告事項 ・その他 	
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	【統合関係学校の学校職員代表者】 五島アツ子、若林幸治、松本信昭、柳澤睦夫、小林進、 岡部玲子、鈴木泰生、諏訪幸市郎、関口昭彦、野本彰、横山大輔 【教育委員会が必要と認める者】 蓮見重人、栗田富美子、小林紀子、鈴木義宏
	事務局職員	粕谷副教育長兼教育総務課長、坪内室長、中尾主査、栗原主事補
配 布 資 料	資料1 学校間の連携合同交流事業にかかるアンケート実施および 来年度以降の連絡・交流について 資料2 閉校記念事業内容について 資料3 指導計画・全体計画の進捗状況と今後の進め方について 資料4 統合小学校における飼育動物の取扱いについて 資料5 小学校統合にかかる協議の進捗状況説明会での主な質問・回 答について 資料6 総合教育会議での「統合小学校の校名（案）」の選定につい て	
協議会等の内容・概要		

協議会等の内容・概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事

(1) 会議の公開について

部会長 会議について、公開するとしてよろしいか。

委員一同 異議なし。

(2) 会議録及び会議署名委員の指名について

部会長 今回の会議署名委員については、鈴木委員さん、諏訪委員さんでよろしいか。

委員一同 異議なし。

4 協議事項

(1) 学校間の連携合同交流事業にかかるアンケート実施および来年度以降の連絡・交流について

委員 資料1-3の間1について、「どのような交流事業を実施しましたか？」とあるが、いつ実施した事業のことを書けばよいのか。

事務局 平成28年10月以降の交流事業について、事前に事業計画を学校から提示していただいているのですが、そこに記載した内容よりもさらに具体的な実施結果を記載していただけたらと考えています。

来年度の連携合同交流事業の実施に向けての参考資料としたいので、明確に記載していただきたいと思っています。

委員 交流事業は学年毎に実施しているが、複数回実施している学年もある。アンケートには、その複数回実施した交流の中でも特に記載したい事業についてのみ回答すればよいのか。

事務局 アンケートは、交流事業を担当した教職員に各学年の担当が関わった事業について記載していただきたい。

委員 交流事業は統合対象校間でお互いに行き来しているわけだが、アンケートには会場校になった時のことを記載すればよいのか。

事務局 会場校になった時の事業について記載していただけたらと考えています。

委員 平成28年については12月16日まで交流事業が予定されているが、アンケートは16日までに実施した交流事業の内容を回答すればよいのか。

委員 現在、交流事業は平成29年2月まで予定しているが、アンケートの提出期限が平成28年12月22日となっている。期日についてはこれでよろしいのか。

事務局 全ての学年が1回は交流事業を実施した段階でアンケートを実施することとしたいと考えています。

委員 職員は学期末に成績処理をするため忙しいので、回答期限を若干遅らせることを考えてほしい。

事務局 3学期の始業式まで遅らせることも考えられます。

委員 平成29年1月10日ではどうか。

委員一同 異議なし。

委員 アンケートの結果を基にして、来年度の交流事業の内容を検討するということか。

事務局 アンケート結果を参考にして、来年度の交流事業の頻度等を考えていきます。

委員 交流事業は今年度の途中で急に実施することになった。
交流事業を総合的な学習として扱うことになると、教育課程も考え直す必要が出てくる。この他様々な面で、教職員にも負担が掛かってくる。
来年度、今年度以上に交流事業を実施するとなると、授業日数等も考慮する必要が出てくる。

事務局 現在のところ、事務局としては、各学年で月1回程度の交流を考えています。

委員 月1回の交流でも、6学年が取り組むわけだから、月6回になる。学校としては、これでは負担感がある。

事務局 来年度は、統合に向けてさらに様々な負担がでてくることは承知しています。そうした負担があることも踏まえて、アンケートに記載していただけたらと思います。交流計画はあくまで学校で考えていただくものですが、アンケートの結果に基づき、交流頻度、交流に取り組む教科等について、教育委員会として指針を示したいと考えています。

委員 今年度実施する交流事業については、実施計画に示している日程が限界である。これ以上交流事業の実施頻度を多くすることは困難であると思われる。
来年度、毎月どの学年でどの頻度実施するのかについて、いつの段階で示していただけるのか。

事務局 来年度の計画策定にかかる方針は、アンケート回収後、なるべく早く示したいと考えています。

委員 資料1-2の冒頭に「さらに宿泊学習や修学旅行も検討することとしています。」とあるが、統合対象校間で合同実施する方向で検討を進めているのか。

委員 八ッ保小学校と小見野小学校については、修学旅行に関して同じ業者に依頼しており、合同で実施する方向で話を進めている。

委員 三保谷小学校と出丸小学校については、業者も修学旅行のコースも異なる。保護者の方々は統合までは各校独自に実施してほしいという意見である。そのため、合同実施するのであれば、保護者に説明する機会を設ける必要があります。

事務局 資料1-2の冒頭の表記については削除することを検討します。

委員 資料1-4の間2について、①から⑧について、「1つに○を付けてください。」とあるが、「1つだけ○を付けてください。」に統一したほうがよい。

事務局 修正します。

委員 資料1-3の間7について、「担当学年において」と記載がある。これについては、選択肢のような実施頻度であると、「その他」の回答しかできないように思う。もう少し、現実的に実施可能な数を選択肢とする必要があると思う。

委員 資料1-3の間7については、学期に何回やるかという選択のほうが良いと思う。

事務局 問7については、検討します。

委員 交流事業は大切であると思う。保護者は、統合した際に子供たちがうまくやっていけるかが心配であると思う。しかし、これまでの交流事業を実施してみても子どもたちは心配ないと確信しています。

交流事業は、良いが実施には多くの負担がかかる。現在の交流事業でも子どもたちはうまくやっている様子が伺えるので、交流の頻度を増やす必要はないと思う。

事務局 来年度、交流の頻度を増やして実施する必要はないことも考えられます。来年度実施するにあたっては、どのようにするべきかを確認するためにもアンケートは実施したいと考えています。

(2) 閉校記念事業内容について

委員 閉校記念事業の内容については、クリアファイル、饅頭、ドローンの撮影等様々な内容が考えられるが、事業の内容は各校共通のものにしていきたい。事務局である程度事業内容の骨子を作成していただければと考えている。

事務局 各小学校で閉校記念事業実行委員会を組織していただいています。組織された段階で、集まっただき、ある程度閉校記念事業の内容について検討していただけたらと考えています。検討した内容を事務局に報告していただければ、それを基に共通の事業内容案を作成したいと考えています。

委員 記念碑を作る場合、4校同一仕様にしていただき、一括で注文することで経費削減を図っていただけたらと思う。

委員 4つの小学校でまずは実施したい事業内容を意見としてまとめ、事務局でその意見をすり合わせる機会を設けていただけたらと思う。

(3) 指導計画・全体計画の進捗状況と今後の進め方について

委員 統合協議会の担当者会議は出張という扱いでよろしいか。旅費を我慢している現実もある。

委員 指導計画の作成については、学校内においても取り組める教科、学校外に出なければ取り組めない教科、教員がどのような意識を持っているのかアンケートを実施し、色々と整理する必要があると考えます。

事務局 また、誰が出張命令権者であるかという問題もあります。出張にかかる旅費対応について考慮できるか検討したいと思います。

(4) 統合小学校における飼育動物の取扱いについて

質疑なし

5 報告事項

(1) 小学校統合にかかる協議の進捗状況説明会での主な質問・回答について

委員 資料5については、教育長が住民の方々に回答したものであると思う。
廃校については、町長部局できめるということ回答をしていた。
スクールバスについては、行事の際に使用できるかについて質問があったが、私も同じことを考えている。このことについて、子育て拠点施設へのバス利用を考えてほしい。学童保育と連携したスクールバスの運行を考えて欲しいという意見も説明会であった。これらの事項について次回の校名・通学・廃校利用部会で検討していただきたい。


事務局 政策推進課に確認して、町民のために活用できないか調整しています。
また、子育て拠点施設への送迎ができないか等についても、町の子育て会議で話が出てきている。
スクールバスの活用方法については、協議会だけでは単純には決められない事項なので、随時町と話あっていきたいと考えています。平成30年以降の廃校の利活用については、町長部局で検討していくよう調整しています。

(2) 総合教育会議での「統合小学校の校名（案）」の選定について

質疑なし。

6 その他

確認事項なし。

署 名	鈴木 泰生	
	諏訪 孝弔郎	